

高等学校 令和5年度

教科 工業

科目 建築構造

教科：工業

科目：建築構造

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：鴨川 寛之

使用教科書：（実教出版「建築構造」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取組む態度を養う。

科目 建築構造 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断し創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。	建築物の構造や建築材料に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名「建築構造のあらし」 【知識及び技能】 建築構造の歴史的発達・なりたち・分類、建築物に働く力、関連法規と規準について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築構造の歴史的発達・なりたち・分類、建築物に働く力、関連法規と規準について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築構造の歴史的発達・なりたち・分類、建築物に働く力、関連法規と規準について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・建築構造の歴史的発達 ・建築構造のなりたち ・建築構造の分類 ・建築物に働く力 ・関連する法規と規準 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	単元名「木構造1」 【知識及び技能】 木構造の特徴と構造形式及び木材、木材の接合について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の特徴と構造形式及び木材、木材の接合について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の特徴と構造形式及び木材、木材の接合について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・構造の特徴と構造形式 ・木材 ・木材の接合 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10
期末考査			○	○		1	
2 学 期	単元名「木構造2」 【知識及び技能】 木構造の基礎及び軸組、小屋組について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の基礎及び軸組、小屋組について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の基礎及び軸組、小屋組について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・基礎 ・軸組 ・小屋組 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	17
	中間考査			○	○		1
	単元名「木構造3」 【知識及び技能】 木構造の床組及び階段について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の床組及び階段について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の床組及び階段について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・床組 ・階段 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	16
期末考査			○	○		1	
3 学 期	単元名「木構造4」 【知識及び技能】 木構造の内外部仕上及び枠組壁構法について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 木構造の内外部仕上及び枠組壁構法について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 木構造の内外部仕上及び枠組壁構法について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・外部仕上げ ・内部仕上げ ・木造枠組壁構法 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	12
	学年末考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和5年度

教科 工業

科目 建築構造設計

教科：工業

科目：建築構造設計

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：鴨川 寛之 山口 直志

使用教科書：（実教出版「建築構造設計」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 建築構造設計 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築構造設計に関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけ、建築物の安全性について現代社会におけるその意義や役割を理解するとともに合理的に考えることができる。	建築物全体の安全性に関して思考を深め、建築構造設計に関する基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断、表現する創造的な能力を身につける。	建築物の安全性に関して関心を持ち、その基礎的・基本的な知識と技術の習得に対して主体的に取り組むとともに、技術者として多様な構造設計に挑む実践的な態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元名「建築物に働く力」 【知識及び技能】 建築物に働く力、力学的に見た建築物、力について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築物に働く力、力学的に見た建築物、力について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築物に働く力、力学的に見た建築物、力について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・いろいろな建築物 ・建築物に働く力 ・力学的に見た建築物 ・力 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	5
	単元名「力の基本」 【知識及び技能】 構造物の力の合成と分解、力のつり合いについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 構造物の力の合成と分解、力のつり合いについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 構造物の力の合成と分解、力のつり合いについて自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・力の合成と分解 ・力のつり合い 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	6
	期末考査			○	○		1
2 学期	単元名「構造物と荷重および外力」 【知識及び技能】 構造物の支点と節点、荷重および外力について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 構造物の支点と節点、荷重および外力について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 構造物の支点と節点、荷重および外力について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・支点と節点 ・荷重および外力 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	8
	単元名「反力」 【知識及び技能】 構造物の反力、反力の求め方について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 構造物の反力、反力の求め方について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 構造物の反力、反力の求め方について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・反力 ・反力の求め方 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	8
	期末考査			○	○		1
3 学期	単元名「反力」 【知識及び技能】 構造物の反力、反力の求め方について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 構造物の反力、反力の求め方について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 構造物の反力、反力の求め方について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・反力 ・反力の求め方 教材 ・教科書、作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	5
	学年末考査			○	○		1
							合計
							35

教科：工業

科目：工業技術基礎

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：金子 淳一

鴨川 寛之

首代 昌紀

使用教科書：（実教出版「工業技術基礎」、「建築実習1・2」、「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して、自ら広い視野で思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元名「展開授業①」</p> <p>【知識及び技能】 木工道具・木工機械、距離測量・平板測量、一点透視投影法について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木工道具・木工機械、距離測量・平板測量、一点透視投影法について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木工道具・木工機械、距離測量・平板測量、一点透視投影法について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 木工Ⅰ (工業技術基礎pp.226-232) (建築実習2 pp.9-125) 木工道具、木工機械 測量Ⅰ (工業技術基礎pp.188-195) (建築実習2 pp.79-51) 距離測量、平板測量 造形Ⅰ (工業技術基礎pp.196-204) (建築設計製図pp.33-44) 一点透視投影法 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	35
2 学 期	<p>単元名「展開授業②」</p> <p>【知識及び技能】 木工事、水準測量、二点透視投影法について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木工事、水準測量、二点透視投影法について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木工事、水準測量、二点透視投影法について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 木工Ⅱ (工業技術基礎pp.226-232) (建築実習2 pp.79-125) 木工事(墨付け・加工・組立) 測量Ⅱ (工業技術基礎pp.188-195) (建築実習2 pp.9-51) 水準測量 造形Ⅱ (工業技術基礎pp.196-204) (建築設計製図pp.33-44) 二点透視投影法 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	40
3 学 期	<p>単元名「展開授業③」</p> <p>【知識及び技能】 木造軸組模型、角測量、二点透視投影法について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木造軸組模型、角測量、二点透視投影法について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木造軸組模型、角測量、二点透視投影法について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 木工Ⅲ (工業技術基礎pp.226-232) (建築実習1 pp.196-203) 木造軸組模型 測量Ⅲ (工業技術基礎pp.188-195) (建築実習2 pp.9-51) 角測量 造形Ⅲ (工業技術基礎pp.196-204) (建築設計製図pp.33-44) 二点透視投影法 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	30

合計
105

高等学校 令和5年度

教科 工業

科目 工業情報数理

教科：工業

科目：工業情報数理

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：小林 克哉 山口 直志

使用教科書：（実教出版「精選工業情報数理」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取組む態度を養う。

科目 工業情報数理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会における情報化の進展と情報の意義や役割、情報化社会に生きる技術者としての使命を理解し、情報技術や数値処理に関する基礎的な知識を身に付け、それらの知識を概念的に理解し、調査や観察・演習を通して、それらを実際に活用できる技術を身に付けている。	情報化社会における諸問題の解決や情報技術・数値処理について自ら思考を深め、問題解決方法を適切に判断し、情報技術や数値処理を活用して、論述や報告書の作成、グループでの話し合いや発表、作品の制作などの表現の能力を身に付けている。	情報技術や数値処理に関する知識と技能を獲得したり、思考・判断・表現の力を身につけたりすることに向けた粘り強い取組みを通して、他者との協働により自らの考えを相対化し、学びに向かって意欲的に取り組む力や人間性を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	展開授業① 単元名「産業社会と情報技術」 【知識及び技能】 情報化の進展と産業社会、情報モラル、情報セキュリティ管理などについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報化の進展と産業社会、情報モラル、情報セキュリティ管理などについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 情報化の進展と産業社会、情報モラル、情報セキュリティ管理などについて自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・情報化の進展と産業社会 ・情報モラル ・情報のセキュリティ管理 教材 ・教科書、指導用プリント	【知識・技能】 小テスト・検定の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 提出物や小テスト・検定の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	24
2 学期	展開授業② 単元名「コンピューターシステム」 【知識・技能】 ハードウェア、ソフトウェア、情報通信ネットワークについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考・判断・表現】 ハードウェア、ソフトウェア、情報通信ネットワークについて課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ハードウェア、ソフトウェア、情報通信ネットワークについて自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・ハードウェア ・ソフトウェア ・情報通信ネットワーク 教材 ・教科書、指導用プリント	【知識・技能】 小テスト・検定の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 提出物や小テスト・検定の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	26
3 学期	展開授業③ 単元名「プログラミングと工業に関する事象の数理基礎」 【知識及び技能】 アルゴリズムとプログラミング、データの入出力、数値処理について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムとプログラミング、データの入出力、数値処理について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムとプログラミング、データの入出力、数値処理について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・アルゴリズムとプログラミング ・データの入出力 ・数値処理 教材 ・教科書、指導用プリント	【知識・技能】 小テスト・検定の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 提出物や小テスト・検定の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	20
合計							70

高等学校 令和5年度

教科 工業

科目 製図

教科：工業

科目：製図

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：鴨川 寛之 山口 直志

使用教科書：（実教出版「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 製図 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、設計図書の意義や役割、作図手順などの知識を習得するとともに、創意工夫して表現する設計製図の技能を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地からの確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法での確に表現する力を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計図書の意義や役割および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者として望ましい心構えや態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元名「製図の基本」</p> <p>【知識及び技能】 製図用具と使い方や製図規約、平家建専用住宅の平面図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 製図用具と使い方や製図規約、平家建専用住宅の平面図について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 製図用具と使い方や製図規約、平家建専用住宅の平面図について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 製図用具と使い方 (pp. 10-12) 線の練習 (pp. 13-16) 製図規約 (pp. 17-19) 文字の練習 平面表示記号 材料構造表示記号 <p>平家建専用住宅①</p> <ul style="list-style-type: none"> (製図例2-1) 平面図 (1:50) <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図 	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	35
2 学 期	<p>単元名 「平家建専用住宅設計図①-1」</p> <p>【知識及び技能】 平家建専用住宅設計図の配置図・平面図、平面詳細図、立面図・断面図、軸組図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平家建専用住宅設計図の配置図・平面図、平面詳細図、立面図・断面図、軸組図について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 平家建専用住宅設計図の配置図・平面図、平面詳細図、立面図・断面図、軸組図について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <p>平家建専用住宅設計図①</p> <ul style="list-style-type: none"> (製図例2-1) 配置図・平面図 (1:100) (製図例2-2) 平面詳細図 (製図例2-3 P69~74) 立面図・断面図 (製図例2-5 P83~84) 軸組図 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図 	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	40
3 学 期	<p>単元名 「平家建専用住宅設計図①-2」</p> <p>【知識及び技能】 平家建専用住宅設計図の基礎伏せ図・床伏せ図、断面詳細図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平家建専用住宅設計図の基礎伏せ図・床伏せ図、断面詳細図について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 平家建専用住宅設計図の基礎伏せ図・床伏せ図、断面詳細図について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <p>平家建専用住宅設計図①</p> <ul style="list-style-type: none"> (製図例2-4 P75~81) 基礎伏せ図・床伏せ図 (製図例2-6 P85~89) 断面詳細図 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、図説建築資料集、参考作成プリント、見本製図 	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	30

合計
105

教科：工業

科目：建築構造

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：首代昌紀

使用教科書：（実教出版「建築構造」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取組む態度を養う。

科目 建築構造 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技能の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指して自ら思考し、判断し創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現することを考えている。	建築物の構造や建築材料に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画により取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	単元名「鉄筋コンクリート構造1」 【知識及び技能】 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式及び鉄筋、コンクリートについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式及び鉄筋、コンクリートについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式及び鉄筋、コンクリートについて自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・構造の特徴と構造形式 ・鉄筋 ・コンクリート 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10	
	中間考査			○	○		1	
	単元名「鉄筋コンクリート構造2」 【知識及び技能】 鉄筋コンクリート構造の基礎及び躯体、仕上げについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート構造の基礎及び躯体、仕上げについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造の基礎及び躯体、仕上げについて自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・基礎 ・躯体 ・仕上げ 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	10	
期末考査			○	○		1		
2 学期	単元名「鉄筋コンクリート構造2」 【知識及び技能】 鉄筋コンクリート構造の壁式・プレストレストコンクリート構造について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート構造の壁式・プレストレストコンクリート構造について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート構造の壁式・プレストレストコンクリート構造について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・壁式構造 ・プレストレストコンクリート構造 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	17	
	中間考査			○	○		1	
	単元名「鋼構造1」 【知識及び技能】 鋼構造の特徴と構造形式及び鋼と鋼材、鋼材の接合、基礎と柱脚について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋼構造の特徴と構造形式及び鋼と鋼材、鋼材の接合、基礎と柱脚について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鋼構造の特徴と構造形式及び鋼と鋼材、鋼材の接合、基礎と柱脚について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・構造の特徴と構造形式 ・鋼と鋼材 ・鋼材の接合 ・基礎と柱脚 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	16	
期末考査			○	○		1		
3 学期	単元名「鋼構造2」 【知識及び技能】 鋼構造の骨組及び仕上げ、軽量鋼構造と鋼管構造について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 鋼構造の骨組及び仕上げ、軽量鋼構造と鋼管構造について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 鋼構造の骨組及び仕上げ、軽量鋼構造と鋼管構造について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・骨組 ・仕上げ ・軽量鋼構造と鋼管構造 教材 ・教科書 ・図説建築資料集 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	12	
	学年末考査			○	○		1	
							合計	70

教科：工業

科目：建築計画

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：山口直志

使用教科書：（実教出版「建築計画」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取組む態度を養う。

科目 建築計画 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の各分野の基礎的・基本的な知識・技術を活用して立案した建築計画を合理的かつ適切なものにするため、根拠となるデータや数値を抽出・算出できる方法を習得、建築計画の意義や役割を理解する。	建築計画にかかわる問題点や課題を建築の各分野の基礎的・基本的な知識・技術を活用して思考・判断し、その解決策を的確に表現できる能力を身につける。	建築計画に興味・関心をもち、その目的や意義をはじめ、建築物のつくり出される過程との関わりなどを理解するため、真摯な態度で意欲的に取り組む。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	単元名「建築と環境1」 【知識及び技能】 建築物を取りまく環境の各要素について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築物を取りまく環境の各要素について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築物を取りまく環境の各要素について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・建築と環境の概要 ・屋外環境と室内環境 ・換気と通風 ・伝熱と結露 ・日照と日射 教材 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	18
	中間考査		○	○		1	
	単元名「建築と環境2」 【知識及び技能】 建築物を取りまく環境の各要素について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築物を取りまく環境の各要素について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築物を取りまく環境の各要素について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・採光と照明 ・色彩 ・音響 教材 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	18
期末考査		○	○		1		
2 学期	単元名「住宅の計画」 【知識及び技能】 住宅の意義及び計画の進め方と考慮事項について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 住宅の意義及び計画の進め方と考慮事項について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 住宅の意義及び計画の進め方と考慮事項について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・住宅の意義 ・住宅計画の進め方 ・全体計画 ・各部の計画 ・バリアフリーとユニバーサルデザイン 教材 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	24
	中間考査		○	○		1	
	単元名「各種建築物の計画」 【知識及び技能】 各種建築物の計画と安全について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種建築物の計画と安全について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 各種建築物の計画と安全について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・集合住宅の計画 ・事務所の計画 ・小学校の計画 ・各種建築物の安全計画 教材 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	21
	単元名「都市と地域の計画」 【知識及び技能】 都市と地域の計画について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 都市と地域の計画について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 都市と地域の計画について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・都市と都市計画 ・都市計画制度と都市計画法 ・建築と地域の計画 ・地域の計画とまちづくり 教材 ・教科書 ・作成プリント		○	○	○	21
期末考査		○	○		1		

3 学 期	単元名「建築設備の計画」 【知識及び技能】 各種建築設備の概要及び計画について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種建築設備の概要及び計画について課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 各種建築設備の概要及び計画について自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・建築設備の概要 ・給排水・衛生設備 ・空気調和・換気設備 ・電気設備 ・防災設備 教材 ・教科書 ・作成プリント	【知識・技能】 定期考査の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【思考・判断・表現】 ノートなどの提出物や定期考査の成果を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。	○	○	○	19	
	単元名「建築の移り変わり」 【知識及び技能】 建築の移り変わりについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築の移り変わりについて課題を発見し、解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 建築の移り変わりについて自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・日本の建築(原始から近世) ・西洋の建築(古代から近世) ・近代の建築 ・現代の建築 教材 ・教科書 ・作成プリント		○	○		1	
	学年末考査			○	○			
							合計	105

高等学校 令和5年度

教科 工業

科目 実習

教科：工業

科目：実習

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：金子 淳一 鴨川 寛之 小林 克哉

使用教科書：（実教出版「建築実習1」、「建築設計製図」）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取組む態度を養う。

科目 実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決を目指して、自ら広い視野で思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上を目指して意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	<p>単元名「展開授業①」</p> <p>【知識及び技能】 建築材料、住宅計画・設計、2次元CADの基礎について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 建築材料、住宅計画・設計、2次元CADの基礎について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 建築材料、住宅計画・設計、2次元CADの基礎について自ら学び、取り組む態度を養う。</p> <p>【重視すべき要点】 1. 実習服に着替えて行う。 2. 始業前に集合場所に整列する。 3. 準備すべき持ち物を事前に係りが把握しクラス全体に周知させる。 4. 服装のみだれや注意力不足は怪我につながる。 5. レポート、作品の提出日、時間は厳守。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料Ⅰ (建築実習1 pp.24-59) セメント、骨材、コンクリート 一人1台端末の活用 ・造形Ⅰ (建築設計製図pp.46-109) 木構造住宅の計画と設計 ・CADⅠ (建築設計製図pp.182-193) 2次元CADの基礎 ・安全教育 服装、機械・工具の取扱、 準備、片付け・清掃 ・データ処理 レポート作成・提出について 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	55	
	2 学 期	<p>単元名「展開授業①」</p> <p>【知識及び技能】 建築材料、建築外観模型、2次元CADの実践について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 建築材料、建築外観模型、2次元CADの実践について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 建築材料、建築外観模型、2次元CADの実践について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料Ⅱ (建築実習1 pp.13-76) コンクリート、木材、鋼材 一人1台端末の活用 ・造形Ⅱ (建築実習1 pp.187-195) 建築外観模型 ・CADⅡ (建築設計製図pp.182-193) 2次元CADを活用した建築図面 	<p>【知識・技能】 報告書などの成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 報告書などの提出物の成果や思考・判断など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや報告書などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	50
3 学 期								
							合計	105

高等学校 令和5年度

教科 工業

科目 製図

教科：工業

科目：製図

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：首代 昌紀 山口 直志

使用教科書：(実教出版「建築設計製図」)

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連している技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】工業に対する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 製図 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築設計製図に関する学習や作図・課題演習を通して、基本的な概念や総合的な把握の仕方を理解し、設計図書の意義や役割、作図手順などの知識を習得するとともに、創意工夫して表現する設計製図の技能を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書作成に関する諸問題を、総合的な見地からの確に把握し考察を深め、建築設計製図における基礎的・基本的な知識を活用して適切に思考・判断し、創意工夫した製図法での確に表現する力を身につける。	各種建築工事に使用される設計図書を作成することに興味・関心をもち、建築設計図書の意義や役割および諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組むとともに、建築技術者として望ましい心構えや態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元名 「木造2階建て専用住宅」</p> <p>【知識及び技能】 木造2階建て専用住宅設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、断面詳細図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 木造2階建て専用住宅設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、断面詳細図について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 木造2階建て専用住宅設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、断面詳細図について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 木造2階建て専用住宅 ・(製図例5-1) 配置図兼1階平面図(1:100) 2階平面図(1:100) オリジナル配置・庭園計画 ・(製図例5-4) 立面図(1:100) ・(製図例5-6) 断面図(1:100) ・(製図例5-7) 断面詳細図(1:30)</p> <p>教材 ・教科書、図説建築資料集、 参考作成プリント、見本製図</p>	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	35
<p>単元名 「木造2階建て専用住宅」</p> <p>【知識及び技能】 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、各種詳細図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、各種詳細図について課題を発見し、解決する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所設計図の配置図・平面図、立面図・断面図、各種詳細図について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 鉄筋コンクリート、鋼造3階建て店舗付き事務所 ・(製図例6-1) 配置図(1:200) 1-3階平面図(1:100) ・(製図例6-3) 立面図(1:100) 断面図(1:100) ・(製図例6-4) 平面詳細図(1:30) 階段断面詳細図(1:30) ・(製図例6-9) 配筋詳細図(1:30) ・(製図例10-4) 鉄骨詳細図(1:20)</p> <p>教材 ・教科書、図説建築資料集、 参考作成プリント、見本製図</p>	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	40
<p>単元名 「2級建築士設計製図課題」</p> <p>【知識及び技能】 身につけてきた知識技術を活用して、2級建築士設計製図課題の条件に違反しない建築計画と要求図面について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 2級建築士設計製図課題の問題文から重要箇所を把握と課題を発見し、解決する力と要求図面で表現する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2級建築士設計製図課題について自ら学び、取り組む態度を養う。</p>	<p>指導項目 2級建築士設計製図課題 ・問題文の読み込みと重要箇所の把握 ・建築物の計画と構想図・基本設計図の作成(エスキス) ・配置図兼1階平面図 ・2階平面図 ・立、断面図 ・矩計図 ・2階床伏図兼小屋伏せ図</p> <p>教材 ・教科書、図説建築資料集、 参考作成プリント、見本製図</p>	<p>【知識・技能】 図面の成果や授業中の取組みなど指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図面などの提出物の成果や表現など指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取組みや図面などの提出物を指導項目の内容について目標の達成度により評価する。</p>	○	○	○	30

合計
105

年間授業計画

教科:(工業)科目:(建築構造設計) 対象:(第3学年) 2単位

使用教科書:実教出版「建築構造設計」

教科担当者:(金子 淳一、首代 昌紀)

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

指導内容 【年間授業計画】	科目「建築構造設計」の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4月 静定トラス	○トラスの解法 ○トラス部材に生じる力 ○節点法	静定トラスの種類と力学的特徴を理解している。 節点法の考え方及び解く知識を身につけている。 節点法の考え方を活用し、図式解法及び算式解法でトラスの部材に生じる力を求め表すことができる。	6
5月 静定トラス 断面の性質	○切断法 ○断面一次モーメント ○断面二次モーメント	切断法の考え方及び計算法を活用しトラスの部材に生じる力を求め表すことができる。 断面の性質に関わる知識を活用し、断面一次モーメント、断面二次モーメントについて求めることができる。	8
6月 断面の性質	○断面係数 ○断面二次半径 ○断面の主軸	断面の性質に関わる知識を活用し、断面係数、断面二次半径、断面の主軸について求めることができる。 断面の諸係数の意味及び活用方法を理解している。	8
7月 構造材料の力学的性質	○応力度 ○ひずみ度	部材断面に作用する力と変形の関係を活用し、応力度、変形量及び部材の強さを求めることができる。 部材断面に生じる垂直応力度、せん断応力度とひずみ度の関係を理解している。	7
9月 構造材料の力学的性質	○ひずみ度 ○弾性体の性質	部材断面に作用する力と変形の関係を活用し、応力度、変形量及び部材の強さを求めることができる。 弾性、塑性の概念及びフックの法則を理解している。	9
10月 構造材料の力学的性質 部材に生じる応力度	○材料の強さと許容応力度 ○曲げモーメントを生じる部材	部材の強さを判定する知識を身につけている。 曲げ変形と応力度の関係を理解・活用し、曲げ材の強さを求めることができる。 曲げ材に生じる応力度について理論と求める方法について理解している。	8
11月 部材に生じる応力度	○引張力を生じる部材 ○圧縮力を生じる部材	引張材と圧縮材の強さを求めることができる。 応力が生じる部材の安全性の判断ができる知識を身につけている。	8
12月 梁の変形	○たわみとたわみ角 ○モールの定理	モールの定理を活用し、たわみ及びたわみ角を求めることができる。	7
1月 梁の変形	○支点のたわみとたわみ角 ○反曲点	梁の変形から不静定構造物を解くための基本概念が導き出されていることを理解している。 モールの定理の活用方法について理解している。	8
2月			1
3月			0

年間授業計画

1年間の計画を確認した後押印

教科：（工業）科目：（建築施工）対象：（第3学年） 2単位

使用教科書：実教出版「建築施工」 副教材：総合資格学院「2級建築施工管理技士第一次試験テキスト」

教科担当者：（小林 克哉）

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目「建築施工」の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予 数 定 時
4 月	建築施工のあらまし	○建築施工にたずさわる人々 ○建築施工の流れ	建築生産者と手続きに関する機関を理解している 工事の準備から建築物完成後の維持管理と保全修繕までの流れを理解している	5
5 月	工事の準備	○工事準備のあらまし ○地盤と敷地の調査・確認 ○解体工事	地盤調査、敷地調査、解体工事について理解している	6
6 月	工事の準備・地面から下の工事	○仮設工事 ○土工事・地業工事の種類と流れ ○土工事 ○地業工事	仮設工事の流れと工事の内容を理解している 基礎工事、根切り、山留、地盤改良について理解している	9
7 月	躯体工事	○木構造の工事 ○鉄筋コンクリート構造の工事	在来工法と枠組壁工法、型枠工事、鉄筋工事、コンクリート工事について理解している	7
9 月	躯体工事	○鋼構造の工事 ○鉄骨鉄筋コンクリート構造の工事 ○プレキャスト鉄筋コンクリート構造の工事	製作工場作業、現場作業、鉄骨工事、プレキャスト工事について理解している	9
10 月	仕上げの工事・設備の工事	○仕上げ初期の工事 ○設備の工事 ○表面仕上げの工事	屋根、外装、間仕切壁、天井下地、建具、ガラス、造作工事について理解している	6
1 1 月	建築物の維持保全	○維持保全の分類と考え方 ○各部の維持保全	維持保全の分類および考え方、各部の維持保全について理解している	9
1 2 月	工事契約と施工管理	○工事契約 ○現場組織の編成 ○施工管理	工事の発注方式、契約、工事事務所組織の構成、工程計画と品質計画の管理、検査、手続きについて理解している	7
1 月	建築工事費の算出	○積算の種類と方法 ○工事費の積算方法	積算の分類や積算に必要な書類について理解している	8
2 月	建築工事費の算出	○建築工事内訳書	建築工事内訳書の構成と書式について理解している	4
3 月				0

年間授業計画

1年間の計画を確認した後押印

教科：（工業）科目：（建築法規） 対象：（第3学年） 2単位

使用教科書：実教出版「建築法規」 副教材：建築資料研究社「建築基準法関係法令集」

教科担当者：（山口直志）

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	建築法規の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予 数 定 時
4月	建築法規のあらまし	○建築法規の起源 ○建築基準法の意義	わが国と諸外国の建築法規の違いや建築物の特徴がわかる 建築基準法の意義と効果について把握できている	7
5月	建築法規のあらまし	○法規体系と建築基準法の構成 ○建築基準法の基本用語	法規の体系を理解し、建築基準法の構成がわかる 法令用語、建築基準法用語がわかる	7
6月	個々の建築物にかかわる規定	○一般構造についての規定 ○構造強度についての規定	面積算定、各部の高さ、採光、換気、遮音、階段・廊下の規定を理解している 構造設計と構造計算がわかる	8
7月	個々の建築物にかかわる規定	○防火と非難についての規定 ○建築設備についての規定	火災の拡大を防止する対策および避難、消防法、延焼防止に関する法規について理解している 換気設備、衛生設備、配管設備、その他の設備について理解している	6
9月	良好な都市環境をつくるための規定	○都市計画法と建築基準法 ○土地利用 ○道路と敷地	都市計画法の目的と集団規定の目的を理解している 用途地域、特別用途地区、防火地域・準防火地域、高層住居誘導地区について理解している 道路の種類と基準、敷地と道路の関係、道路内の建築制限について理解している	8
10月	良好な都市環境をつくるための規定	○密度に関する規定 ○形態に関する規定 ○良好なまちづくり	建蔽率、容積率、建築物の高さの制限、景観、建築協定など良好なまちづくりの規定を理解している	8
11月	手続きなどの規定	○手続きのあらまし ○手続きに係る機関 ○着工前の手続き ○工事中的手続き	建築主事、確認検査機関、特定行政庁、建築審査会について理解している 建築物の設計と工事監理、建築確認、施工状況や検査、工事現場に関する手続きについて理解している	8
12月	手続きなどの規定	○使用中の手続き ○違反建築物などに対する措置 ○その他の制度	維持保全の義務、定期点検、違反建築物の設計者などに対する措置、危険な建築物などに対する措置について理解している	5
1月	各種の関係法規	○企画段階にかかわる法規 ○設計と工事の段階にかかわる法規	建築資金にかかわる法規、建築士法、建設業法、工事の安全管理と衛生管理、環境の保護について理解している	6
2月	各種の関係法規	○良好な建築を促進する法規 ○その他の法規	バリアフリー法、耐震改修促進法、都市景観の整備・保全について理解している 取引・登記、所有・利用・管理に関する法規について理解している	7
3月				

年間授業計画

教科：（ 工業 ） 科目：（ 製図 ） 対象：（ 第 3 学年 ） 3単位

使用教科書：実教出版「建築設計製図」

教科担当者：（ 金子 淳一、首代 昌紀 ）

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目建築製図の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4 月	商店設計	商店の用途決定 設計趣旨 店のロゴマーク 平面、配置計画 各図エスキス	店舗の諸機能を把握しているか 車と人の導線計画 ゾーニング	9
5 月	商店設計	商店の用途決定 設計趣旨 店のロゴマーク 平面、配置計画 各図エスキス	店舗の諸機能を把握しているか 車と人の導線計画 ゾーニング	9
6 月	商店設計	図面作成 配置図兼 1 階平面図 2階平面図 立断面図	視覚的に効果の高い図面、模型	12
7 月	商店設計	図面作成 配置図兼 1 階平面図 2階平面図 立断面図 模型製作	視覚的に効果の高い図面、模型	9
8 月	商店設計	模型製作	視覚的に効果の高い図面、模型	0
9 月	商店設計 卒業設計	プレゼンテーション 敷地の選定 地形と気候の把握	視覚的に効果の高い図面、模型 北国、南国、山、海辺など 気候と地形のねらい	12
10 月	卒業設計	敷地の選定 地形と気候の把握 エスキース	北国、南国、山、海辺など 気候と地形のねらい	12

11 月	卒業設計	図面作成 配置図兼 1 階平面図 2階平面図 立断面図 かなばかり図 外観パース	当初の趣旨を貫徹する設計努力	9
12 月	卒業設計	図面作成 配置図兼 1 階平面図 2階平面図 立断面図 かなばかり図 外観パース	当初の趣旨を貫徹する設計努力	12
1 月	卒業設計	外観パース 模型	当初の趣旨を貫徹する設計努力	12
2 月	卒業設計	プレゼンテーション	当初の趣旨を貫徹する設計努力	9
3 月				

年間授業計画

教科:(工業)科目:(実習)対象:(第3学年)3単位
 使用教科書:副教材:実教出版「建築実習1・2」
 教科担当者:(鴨川 寛之、小林 克哉、山口 直志)

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

指導内容 【年間授業計画】	科目「建築実習」の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
※3班に分かれ、以下の3課題をローテーション学習する。 A. 施工実習 ○安全教育 ○鋼製枠組足場の組立・解体 B. 計画実習 ○騒音測定 C. CAD実習(木造) ○平面図、立面図、かなばかり図の作成	A. 施工実習について ○事故防止に努め、安全に作業を行うことができる。 ○実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。 ○鋼製枠組足場の組立・解体の方法を理解する。 ○鋼製枠組足場が労働安全衛生規則の規定を満足しているか確認できる。 B. 計画実習 ○事故防止に努め、安全に作業を行うことができる。 ○騒音計の正しい使用方法を理解する。 ○測定結果と、環境基準値と照らし合わせ、音の性質を理解する。 C. CAD実習(木造2階建)について ○CADのレイヤー・線種・線色などを理解できる。 ○木造住宅の建築に必要な知識と技術を理解する。 ○建築図面を正しく読み取ることができる。 ○複写、伸縮、包絡などCADの持つ機能を十分に活用することができる。	○レポートやCAD図面の提出物評価、学習の取組み状況などを総合的に評価する。	9
			6
			12
※3班に分かれ、以下の3課題をローテーション学習する。 A. 施工実習 ○鋼製単管足場の組立・解体 B. 計画実習 ○昼光率の測定 C. CAD実習(RC造) ○平面図、立面図、かなばかり図の作成	A. 施工実習について ○事故防止に努め、安全に作業を行うことができる。 ○実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。 ○鋼製単管足場の組立・解体の方法を理解する。 ○鋼製単管足場が労働安全衛生規則の規定を満足しているか確認できる。 B. 計画実習 ○事故防止に努め、安全に作業を行うことができる。 ○実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。 ○照度計の正しい使用方法を理解する。 ○測定結果と、環境基準値と照らし合わせ、室の採光性能を検討する。 C. CAD実習(木造2階建)について ○CADのレイヤー・線種・線色などを理解できる。 ○木造住宅の建築に必要な知識と技術を理解する。 ○建築図面を正しく読み取ることができる。 ○複写、伸縮、包絡などCADの持つ機能を十分に活用することができる。	○レポートやCAD図面の提出物評価、学習の取組み状況などを総合的に評価する。	6
			12
			6
※3班に分かれ、以下の3課題をローテーション学習する。 A. 施工実習 ○鉄筋組立作業 ○型枠組立作業 B. 計画実習 ○人工照明の測定 C. CAD実習 ○外観パースの作成 ○中間ファイルの応用	A. 施工実習について ○事故防止に努め、安全に作業を行うことができる。 ○実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。 ○鉄筋・型枠の組立方法を理解する。 ○鉄筋・型枠の組立が設計図面の寸法を満足しているか確認できる。 B. 計画実習 ○事故防止に努め、安全に作業を行うことができる。 ○実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。 ○照度計の正しい使用方法を理解する。 ○測定結果と、環境基準値と照らし合わせ、室の採光性能を検討する。 C. CAD実習について ○CADのレイヤー・線種・線色などを理解できる。 ○木造住宅の建築に必要な知識と技術を理解する。 ○建築図面を正しく読み取ることができる。 ○複写、伸縮、包絡などCADの持つ機能を十分に活用することができる。 ○データの共有化により作業効率が向上することを理解する。	○レポートやCAD図面の提出物評価、学習の取組み状況などを総合的に評価する。	6
			6
			9
2月			0
3月			0

年間授業計画		1年間の計画を確認した後押印			
教科:(工業)科目:(課題研究)対象:(第3学年)3単位		教科	教務	副校長	校長
使用教科書:実教出版「建築設計製図」					
副教材:総合資格学院「2級建築施工管理技士第一次試験テキスト」、実教出版「建築実習1・2」					
教科担当者:(金子 淳一、鴨川 寛之、小林 克哉、首代 昌紀)					
指導内容 【年間授業計画】	科目、課題研究の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等			予 定 時
4月	A: 設計製図・パース	A: 各種コンペへの参加及びエアブラシによる着彩パースの作成			12
	B: 資格取得	B: 2級建築施工管理技士の受験			
	C: 創作模型	C: オリジナル構想の模型作製			
	D: 木造	D: 大工技能研究及び造作			
5月	A: 設計製図・パース	A: 各種コンペへの参加及びエアブラシによる着彩パースの作成			9
	B: 資格取得	B: 2級建築施工管理技士の受験			
	C: 創作模型	C: オリジナル構想の模型作製			
	D: 木造	D: 大工技能研究及び造作			
6月	A: 設計製図・パース	A: 各種コンペへの参加及びエアブラシによる着彩パースの作成			12
	B: 資格取得	B: 2級建築施工管理技士の受験			
	C: 創作模型	C: オリジナル構想の模型作製			
	D: 木造	D: 大工技能研究及び造作			
7月	A: 設計製図・パース	A: 各種コンペへの参加及びエアブラシによる着彩パースの作成			9
	B: 資格取得	B: 2級建築施工管理技士の受験			
	C: 創作模型	C: オリジナル構想の模型作製			
	D: 木造	D: 大工技能研究及び造作			
9月	A: 設計製図・パース	A: 各種コンペへの参加及びエアブラシによる着彩パースの作成			12
	B: 資格取得	B: 2級建築施工管理技士の受験			
	C: 創作模型	C: オリジナル構想の模型作製			
	D: 木造	D: 大工技能研究及び造作			
10月	A: 設計製図・パース	A: 各種コンペへの参加及びエアブラシによる着彩パースの作成			9
	B: 資格取得	B: 2級建築施工管理技士の受験			
	C: 創作模型	C: オリジナル構想の模型作製			
	D: 木造	D: 大工技能研究及び造作			
11月	A: 設計製図・パース	A: 各種コンペへの参加及びエアブラシによる着彩パースの作成			12
	B: 資格取得	B: 2級建築施工管理技士の受験			
	C: 創作模型	C: オリジナル構想の模型作製			
	D: 木造	D: 大工技能研究及び造作			
12月	A: 設計製図・パース	A: 各種コンペへの参加及びエアブラシによる着彩パースの作成			12
	B: 資格取得	B: 2級建築施工管理技士の受験			
	C: 創作模型	C: オリジナル構想の模型作製			
	D: 木造	D: 大工技能研究及び造作			
1月	A: 設計製図・パース	A: 各種コンペへの参加及びエアブラシによる着彩パースの作成			9
	B: 資格取得	B: 2級建築施工管理技士の問題。解答の考察			
	C: 創作模型	C: オリジナル構想の模型作製			
	D: 木造	D: 大工技能研究及び造作			
2月	A: 設計製図・パース	発表会準備と発表			9
	B: 資格取得				
	C: 創作模型				
	D: 木造				